

JYUKU

19 歳、未来が動き出す

じゅうく。

四万十町 塾 「じゅうく。」

JIYUKU STORY

19歳、未来が動き出す

「自分の明日が楽しみだ」
そう思えるようになったのはいつからだろう。

数年前の私は、とりあえず学校に行って、
授業を眺めて、携帯をつついてた。
やりたいことなんて、何にもなかった。

でも、そんな私に、
眼差しを向け続けてくれる大人たちがいた。

「本当にそれでいいの？」
「あなたはどうか考えるの？」

そんなやりとりを何度も繰り返すうちに、
私の中で変化があった。

「もっと良くなりたい」
「もっと見てみたい」
小さかった私の世界が、
少しずつ大きくなった。

考える過程で、いろんな自分に出会った。
できない自分。自信がない自分。
誰かや何かのせいにする、弱い自分。

もうやりたくない。簡単な方を選びたい。

そう思ったことも何度もあった。
でも、私の中に生まれた「したい」に素直になったら、
乗り越えなきゃと、何度も思い直した。

明日私は誕生日を迎える。
少し大人になった私は、また少し、理想の私に近づく。
私のために、誰かのために、動ける私に。

19歳、未来が動き出す。

そんな予感がしてならない。
心踊る、未来が待ってる。

WHAT's JIYUKU



「じゅうく。」は、四万十町にある
2つの高校「窪川高校」と「四万十
高校」を応援するためにつくられ
た町営の塾です。高校や役場、
町内外の様々な機関と連携し
ながら、子どもたちにとってより良い
学びを提供できるよう、日々奮闘
しています。

じゅうく。名前に込めた想い

THOUGHTS IN THE NAME

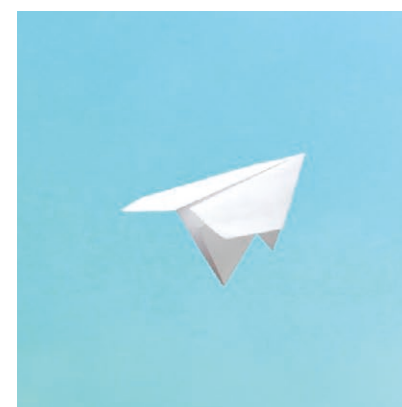


「じゅうく。」という名前は、「じゅう＝自由」と「く＝区」の2つの言葉からできています。「じゅう＝自由」には様々な想いが込められており、学習を通じて、子どもたちが学んだことを自分の言葉にすることや、課外活動を通じて、好きなことを知って夢中になることを願っています。一方「く＝区」とは場所という意味があり、そんな様々な学びが生まれる場

所を目指したいという考えに由来します。また、「自由」にはもう1つ意味があります。それは、「自」分に「由（よ）」るという意味です。「由る」という言葉には、「従う」という意味があります。すなわち「自由」とは、他者に従うのではなく、自分自身に責任を持ちながら、自らに従って生きていくという意味が込められているのです。

私たちは子どもたちに、「先生が言っているから」「友達がやっているから」と他人にによって生きていくのではなく、自分の信じるものに由って、そこに従ってまっすぐ突き進む強さを持ってほしいと考えています。こうした願いが実現される場所になりたいと、「じゅうく。」は考えています。

JIYUKU ALBUM



じゅうく。 # 日常 # ワクワク

CURRICULUM #じゅうく。

learning

01

学ぶ力を身につける

「じゅうく。」に通う目的は生徒によってさまざま。「分からないところを1つでも解けるようになりたい!」「テストの点数を上げたい!」「大学に進学したい!」そんな一人一人の目標達成をサポートするために、**授業や質問対応**などを行なっています。ただわからない問題を教えるのではなく、目標に向かって計画を立てることや、結果を振り返り次に繋げることをサポートします。そのサイクルを通じて、生徒の「学ぶ力」が育まれることを目指しています。



curiosity

02

ワクワクする瞬間に出会う

「じゅうく。」では、「宇宙」「情報」「アート」など、**身の回りの様々なテーマを多様な視点から学ぶ授業**を実施し、科目の勉強のみにとどまらない学びの機会を提供しています。興味があるかどうかに関わらず、まず触れてみることで、自分がワクワクするものに出会う。そんなきっかけを作ります。また、**キャリアをテーマとしたイベント**も実施しており、多様な経験を持った大人との交流を通じて、自分の将来について考える機会も設けています。



challenge

03

様々なことに挑戦してみる

学びの場は教室の中だけではありません。地域で、時には地域を越えて挑戦する機会を大切にしています。生徒主体で**イベントを企画**したり、**他県の中高生とともにクラウドファンディングに挑戦**したり。初めは上手いかもしれませんが、諦めずに取り組むことで1つずつできることが増えていき、その経験がまた次の挑戦に繋がっていきます。また時には、別の誰かの挑戦を後押しすること。 「じゅうく。」が目指すのは、そんな「挑戦の連鎖」が生まれるコミュニティです。



future

04

進路の実現を目指す

「じゅうく。」では推薦入試を中心とした受験のサポートを行なっています。「どんな対策をすればいいかわからない…」そんな悩みを持つ生徒一人一人と対話し、**大学・学部調べや、志望理由書の作成、面接対策**などをサポートしています。また、ICT教材を活用して、必要な科目をカスタマイズして学習することもできます。スタッフと相談しながら計画を立て、学習を進めていきます。

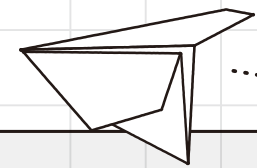
<2021,22年度の合格実績>

高知大学、高知県立大学、立命館大学、日本女子大学、龍谷大学、桜美林大学、桃山学院大学、美作大学など



INTERVIEW

#じゅうく。通塾生



YAMAWAKI IBUKI



山脇 唯希さん

学校で配られたパンフレットを見て、「じゅうく。」では勉強以外のこともできるのは知っていました。中学部に入塾して「好奇心のトビラ授業」に参加した時に、知らないことを知れるのが面白いと思いました。高校生になってからも、地域活動などを通じて様々な経験をしたいと思っています。



勉強も頑張りながら、地域活動やイベントなどにも参加していきたいです。

OKABAYASHI YUTO



岡林 優仁さん

中学生の頃は計画を立てず、なんとなく勉強していました。「じゅうく。」に入って、効率の良い勉強法を実践したり、わからないところを先生や友人に聞いたりするようになり、点数が上がって自信ができました。今ではさらに上の目標を目指して、自分で計画を立てて勉強するようにしています。



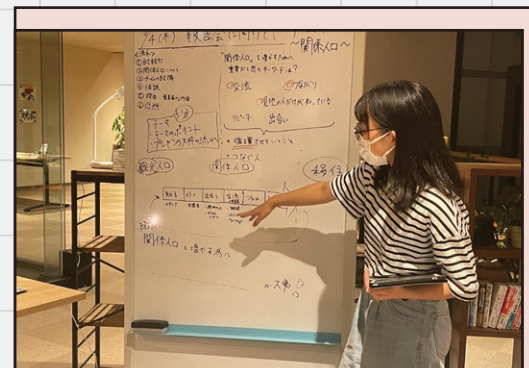
勉強に向かう姿勢が変わりました。勉強も地域活動も楽しんでいます。

TAKENAKA KAEDE



竹中 楓さん

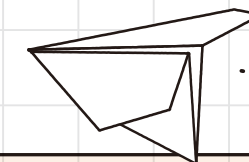
高校に入ったばかりの時は、将来について「なんとなく大学に行きたい」としか思っていませんでした。しかし、「じゅうく。」のプロジェクトに参加し挑戦を重ねていく中で、段々とやりたいことが見つかっていきました。今後は「まちづくり」をキーワードに様々な挑戦をしていきたいです。



京都府の宮津市に行きまちづくりについて学んだことで、四万十町の良さを再認識しました。

INTERVIEW

#じゅうく。卒業生



YABUSHITA RINKO



藪下 倫子さん

私は高校入学時に大阪府から四万十町に来ました。
1年生の頃は自分に自信がなかったのですが、「じゅうく。」での活動を通じて、自分の意見を出したり、自ら行動を起こしたりできるようになり、自分に自信ができました。卒業後は県外の大学に進学しますが、今後も四万十町と関わり続けたいと思っています。



「じゅうく。」に入って新しい自分に出会えました。これからも何事にも挑戦していきます。



NASU SHION



那須 詩音さん

「じゅうく。」のプロジェクトに参加して地域の方と関わっていく中で、「四万十町にはこんなに魅力的な人たちがたくさんいるんだ」と気づき、四万十町に残りたいと思うようになりました。今は役場で働く傍ら、四万十町を盛り上げる一員として複数の団体に所属し、イベントの企画や運営をしています。



自分が協力してもらったように、次は協力者として四万十町と関わり続けていきたいです。



KUROIWA KOYUKI



黒岩 小雪さん

「じゅうく。」の良さは、スタッフが一人一人と丁寧に向き合ってくれることだと思います。「じゅうく。」に通うことで勉強ができるようになっただけでなく、スタッフとの対話や地域活動を通じてやりたいことを見つけ、将来の選択肢を増やすことができました。「じゅうく。」に通って良かったです。



背中を押してくれるスタッフがいたから、今も色んなことに対して前向きに挑戦できています。



じゅうく。Information

ACCESS

高校部

くぼかわ教室

- アクセス 四万十町榊山町3-7 農村環境改善センター内
- 開室日 月、火、木、金
- 時間 16:30 ~ 20:30



しまんと教室

- アクセス 四万十町大正380 大正地域振興局内
- 開室日 月、火、木、金
- 時間 16:30 ~ 20:30



中学部

くぼかわ教室

- アクセス 四万十町榊山町3-7
農村環境改善センター内



たいしょう教室

- アクセス 四万十町大正380
大正地域振興局内



とおかわ教室

- アクセス 四万十町十川145-3
十和地域振興局内



じゅうく。

FacebookのQRコード

URL : <https://www.facebook.com/jiyuuku2020>



問い合わせ先

四万十町役場 人材育成推進センター

TEL 0880-22-3163